



〒四二六〇〇二五  
藤枝市藤枝四一七  
大慶寺 大場正昭  
TEL 〇五四六四一〇二二九  
FAX 〇五四六四四六二二六

## 27年度護持会費納入のお願い

日頃より大慶寺護持にご協力を賜り篤く御礼申し上げます。

さて、3月末までに地震・火災保険（JA建更）で多額の支出が予定されています。できましたらお早めのご納入をお願い申し上げます。（会計年度は1月1日～12月31日）

## 総代世話人会開催

2月21日、午後2時より総代世話人会が開催されました。詳細は近々にお送りする「護持会報第17号」をご覧ください。

藤枝市の杉本仁志様、天野鎖智枝様、岡本吉史様、水野シズ子様、島田市の坂本勝志様、坂本厚様、羽下隆様、山岡貞一様、石神弥寿夫様、神奈川県森実正明様から法話箋のお葉書代を頂戴致しました。ここに篤くお礼申し上げます、法話箋作りの資とさせて頂きます。

別世帯の子供、お孫様等にも法話箋をお届け致します。申込は寺まで。

よく見えているつもりだが：

最近好きになれない言葉に「セレブ」がある。豪邸に住み、豪華な食事を取る様子を映し出し、これこそ人の究極の幸せであるかのような構成をとるテレビ番組には特に閉口する。

自分のためにお金を使い、人に見せびらかすのが、求める幸せなのか？それなら成金と言った方が正しいのではと考えてしまう。

人がお金を自分のために使うのは当たり前。それ自体尊敬の対象にはならない。尊敬たり得るのは、お金を自分のためだけでなく、社会、人のために使う人である。

自分の命は、先祖を始めとする多くの人の繋がり、そして地球という環境の中で始めて存在できる。

その中で、思いがけずお金を稼げるのは、本人の努力もさることながら、多くの縁や運の集大成の結果。考えて見れば、自分の存在、行動、その結果すべてが、他者、他の物との関わり合いの中から生まれるもの



である。とするならば、そこから頂いた富の一部は、元に還元することが肝要。

戦後教育は多いに我々に恩恵をもたらしたが、失ったものも多い。世の中のこととは、科学や論理で説明できると盲信している人が多いのが、その負の最たるもの。人として判断しようとするのは大切だが、すべてを判断できると過信することは間違いない。

人の目は「昨日の自分」と「今日の自分」の違いが分からない。何でもはつきり見えていると思いついでいる大いなる錯覚。見た物以外には信じないとよく言う。しかし、実際は見た物を詳細に正確に見ることすらできないのが人の目。

仏さまは、人間を過信しすぎて、自分が今存在せしめている縁や環境を疎かにすることはおかしいよと教える。

人は人として誇りを持ちながら、見て分かっていないつもりでも、本当は分かっているつもりの謙虚な心持ちをいつも忘れてはならない。

ぼやっとしか見えていないのに、はっきり見えていると錯覚する人の目。